

『第 27 回ビデオレンタル店実態調査』について

当協会は 10 月 16 日(水)午後 1 時 30 分より、協会会議室において『第 27 回ビデオレンタル店実態調査結果』について記者発表会を開催しました。当日の出席者は、八十河恒治統計調査委員会委員長(株)ポニーキャニオン営業本部レンタル営業部長)、後藤健郎専務理事・事務局長、伊藤和彦管理部長、上田直子管理部次長兼広報課長。

以下に記者発表された報告の中から抜粋して「調査結果の概要」と「各調査項目の平均値」の表をご報告いたします。

なお、同調査の詳細な結果は『ビデオレンタル店実態調査報告書 2013』として冊子にまとめられ、一般の方にも有料にて頒布しております。

詳細については、広報課上田まで(03-3542-4433)、もしくは協会ホームページ「お問い合わせ」にアクセスしてください。

以上

第 27 回ビデオレンタル店実態調査

調査実施概要

調査対象	JVA レンタルシステム加盟のレンタルビデオ店 (ネットレンタル及び自動レンタル機器によるレンタルを除く)
調査時期	2013 年 6 月
調査方法	郵送アンケート方式
調査対象期間	2012 年 6 月～2013 年 5 月の 1 年間
調査票送付数	3,485 票
有効回答標本数	740 票 (有効回答率 21.2%)
調査主体	一般社団法人 日本映像ソフト協会
集計分析	株式会社 文化科学研究所

調査結果の概要

● 月平均のレンタル総売上は 552.0 万円。前年比 104.9%と前年を上回る

DVD レンタルが 535.0 万円、ブルーレイレンタルは 21.5 万円、VHS レンタルが 0.6 万円という平均売上金額となった。DVD レンタルの前年比は 104.3%に対し、ブルーレイレンタルは 134.4%と昨年同様の伸長を見せているが、平均売上金額自体がまだ小さく、全体売上比率の底上げにはなっていない。

● 1泊2日の新作料金が 2004 年以降初めて上昇。料金設定にメリハリを付けた工夫が

貸出金額単価を見てみると、新作 1泊2日の平均で 336 円となり、前年よりプラス 6 円（前年比 101.8%）で 2004 年以降初めて上昇に転じた。（2004 年は調査時期の変更により 2003 年調査がなく、2002 年と比較して 1 円の上昇だった。）そのほかの貸出期間でも新作は昨年より平均金額が上昇している。このように、新作に関しては、貸出金額単価の低下に歯止めがかかっている様子がみとれる。

一方旧作については、1週間料金単価が 132 円で前年からマイナス 15 円になるなどしており、メリハリをつけた料金設定となった感がある。またキャンペーンは昨年より多い 83.3%の店舗が実施しているが、月に 2～3 回程度実施している店舗が 28.6%から 21.3%に減少し、月一度程度実施している店舗が 34.6%から 41.9%に増加しており、キャンペーンの実施頻度は低下している様子が伺える。

● DVD 貸出枚数、月平均売上金額ともに上昇。薄利多売傾向に歯止め

前年には貸出枚数は上昇するもレンタル料金の低価格化が影響して売上金額は反対に減少する結果となったが、本年調査では DVD の貸出枚数が 36,596 枚で前年比 105.2%と増加し、この貸出枚数の増加に対応するように、DVD の月平均売上金額も 535.0 万円の前年比 104.3%と伸長した。

● ブルーレイレンタルの月平均売上は前年比 134.4%と拡大傾向ながら、展開は小規模のまま

BD レンタル実施率は 93.9%で 3 年連続の増加となり、レンタル部分の面積規模別に見ても 100 坪以上の大規模店で 98.1%、100 坪以下の中・小規模店でも 91.7%といずれも 9 割を超える割合で実施されている。ブルーレイの平均在庫は 1,439 枚で前年比 115.8%、月平均貸出枚数は 1,095 枚で同 140.9%、月平均仕入枚数は 54 枚で同 142.1%、月平均売上は 21.5 万円と同 134.4%と拡大する傾向にある。しかしながら、DVD と比較すると、在庫数で 2.8%、貸出枚数で 3.0%、仕入枚数で 3.6%、売上金額で 3.9%に留まっており、実施規模は DVD に比べるとまだ小規模に留まっている。

● **ほぼその役割を終えつつある VHS レンタル**

減少の一途をたどってきている VHS レンタルについては、本年はレンタル実施率が 17.7%、平均売上金額が 0.6 万円と昨年の半分以下に留まった。実施している店舗においても、在庫数 20 本未満が約半数（48.9%）であることから、一般的な VHS レンタルに関しては、その役割を終えつつある状況であるといえる。

● **事業拡大派と事業の主軸転換派の二極化傾向。大規模店の 3 割強が「事業の主軸を転換したい」**

今後の経営方針では、「現店舗で客層拡大や効率化を行う」といった現状維持派が 47.2%から 35.9%に減り、対して「事業を拡大していこうと考えている」積極派が 30.7%から 41.1%に増加、さらに「事業の主軸を転換したい」という消極派も 15.9%から 16.8%に微増した。100 坪以上の大規模店では対前年比が 80~100%であったと答えた店舗が 80.9%を占めたが、「事業の主軸を転換したい」と答えた店舗が 34.7%存在し、中・小規模店よりもよりシビアな経営の展望を抱いているようである。

注) 本報告では、店舗内のビデオレンタル部分の面積が 100 坪以上の店舗を「大規模店」、100 坪未満の店舗を「中・小規模店」と表している。

表. 各調査項目の平均値

2013年 ()内は前年比				
ビデオレンタル 部門の 月平均売上	総売上	552.0万円 (104.9%)		
	D/BD/V	DVD 535.0万円 (104.3%)	BD 21.5万円 (134.4%)	VHS 0.6万円 (38.0%)
レンタル実施率		100.0%	93.9%	17.7%
売上対前年比別 店舗数構成比	80%未満	5.4%		
	80~100%	63.5%		
	100%以上	31.0%		
平均レンタル 料金 単位:円	平均レンタル料金(DVDとBDの区別なし)			
		新作 (前年差)	準新作 (前年差)	旧作 (前年差)
	当日料金	284 (+1)	265 (+21)	192 (+11)
	1泊2日料金	336 (+6)	311 (+54)	204 (-3)
	2泊3日料金	389 (+2)	314 (±0)	202 (-9)
	一週間料金	369 (+8)	273 (-90)	132 (-15)
	延滞料金	252 (+6)	245 (+1)	244 (+6)
月平均貸出 枚数	枚数	DVD 36,596枚 (105.2%)		BD 1,095枚 (140.9%)
		DVD 206.4万円 (92.6%) 1,500枚 (139.7%)		BD 8.5万円 (100.0%) 54枚 (142.1%)
在庫	総在庫枚・本数	52,084枚・本 (112.8%)		
	本・枚数	DVD 50,622枚 (112.8%)	BD 1,439枚 (115.8%)	VHS 586本 (55.5%)
店舗面積	店舗総面積	255.2坪 (100.8%)		
	レンタル部門面積	91.8坪 (103.1%)		
会員数	総数	17,107人 (108.4%)		
	男性	58.7%		
	女性	41.3%		